



輝け 多治見高校生!!

— Have a Dream Project —

薬物乱用防止講話

平成30年11月8日(木)

多治見警察署 生活安全課 田中 聡さんをお招きし、薬物乱用防止講話を開催しました。今回の講話は、薬物乱用は誰にでも起こりうる問題であること、薬物乱用を始めるきっかけのほとんどが、大切な人からの誘いであり、その誘いを断る勇気を持つことが大切であるといった内容でした。検挙事例や、実体験をもとにご講話いただき、どの生徒も真剣に耳を傾ける姿が見られました。

また、ネットの普及に伴い、中・高校生の薬物乱用が増えていることについても触れられ、薬物についての知識だけでなく、ネットの使い方についても見直す機会となりました。



【生徒感想】

5人に1人が薬物に誘われるなんて思いませんでした。もし仮に誘われたとしてもきっぱりと断ろうと思います。10代から薬物をする人が多いと聞いてやって良いことと悪いことの区別をし、身近な人に薬物を乱用している人がいたらすぐに止めたいです。講話のビデオであったように、薬物に手を出すと、その人の親が悲しい思いをしているのを知りました。自分の親に産んでくれたことを感謝して、親に迷惑や心配をかけない生活を送りたいです。大人になってから自由になることが多いので、その流れで間違った方向に進まないように、これからの講話も大切に聞いて、将来大人になったときに、この話を思い出して活かせるようにしたいと思いました。

今回の講話から、薬物は自分たちの身近にあるなあと感じました。ネットが誰でも使えるようになったことに比例して、危険も増していると思いました。もしも、友達や知り合いから「やばい」薬を勧められたとしても、自分は流されずに止まる勇気が必要だと思いました。また、その友達を止める勇気も必要だと思いました。

自分の身にも起こるかもしれないということを肝に銘じておきたいと思います。